

令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立岡崎小学校

作成日

令和 2年 2月 14日

1 教育目標

強いからだと豊かな心を養い、自ら課題を求め、よりよく生きようとする子どもの育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、特に「書く」領域での平均値を目指す。 ○宿題の提出率、90%以上を目指す。	○道徳の授業が「楽しい」「よくわかる」児童90%以上を目指す。 ○縦割りでの活動を、昨年度より増やす。	○毎日朝ごはんを食べてくる児童95%以上を目指す。 ○体力テストの平均値、全国平均を目指す。	○保護者へのアンケートで、「教育活動や子どもの様子を分かりやすく知らせている」について80%以上を目指す。 ○ゲストティーチャー等、多くの方々に学校に来ていただけるよう働きかける。
重点目標に対する	○具体的に数値目標を示し、取り組んでいくことは良いと思う。	○道徳の授業研究をもとに、具体的な実践を行う上でも、縦割り活動の継続と充実を目指してもらいたい。	○基本的な生活習慣の定着は、学校だけでなく、保護者・地域がその必要性について共通理解し進めていく取組を継続してもらいたい。	○地域人材の活用をはかるため、ボランティア登録カードを作成する。登録していただいた方々に、積極的に関わってもらいたい。
取組状況に対する	○授業改善を通じて、学力の向上に向けて効果を上げてもらいたい。	○道徳的判断力の育成と同時に、道徳的实践力を高める取組が必要ではないか。 ○道徳の授業について、子ども達は興味・関心をもって行うことができていると思います。	○「食育」について、保護者への啓発しっかりしていただけてもらいたい。	○学校での出来事を、今後も保護者・地域にどんどん発信していただけてもらいたい。
取組の適切さの検証結果	○国語力の向上は、全ての学力の基本となるので、様々な機会を通して取り組んでもらいたい。 ○児童一人一人に応じた取組を、今後も行ってもらいたい。	○参観の様子や掲示物を見て、児童が自分を主張すると同時に、協同する気持ちが育っていると感じた。	○宿題の提出や朝食については家庭の教育力が重要なので、今後どのように協力を得ていくのかについて考えてほしい。	○多くの保護者に学校の活動が伝わっていることは、とても良いことだと思います。
改善方法に向けての意見	○来年度以降も、改善点を探りながら継続した取組を行っていくことが良いと思う。 ○多様な形態による学習が実現できるよう、教員数の確保ができるようにしてほしい。 ○読書タイムについて、十分な時間を確保し、継続できればよいのではないか。	○道徳の年間指導計画の見直しを、引き続き行っていく必要がある。 ○道徳の教育目標に向かって、児童が主体的に取り組んでいけるように、授業力向上に努めたり、授業形態の工夫をしたりしていくことが大切ではないか。	○体を動かす機会を設けるため、楽しく継続できる「なわとび大会」等の活動を設定していくことで、体力向上につなげてほしい。	○地域人材を活用した学習や交流をしていくための組織作りと、積極的に声かけをしていくことが大切ではないか。

3 その他のご意見

- 外国語活動やプログラミング教育など新しい学習のことを考えると、授業時数の確保に向けて学校行事の精選が必要ではないか。
- 授業改善と授業の質の向上に向けて研修を深めてもらいたい。
- 児童の育成に向け、校内の環境整備を行うことは効果的な取組だと考える。
- 児童数が増加し、学級数が増えることによる教室不足については大きな課題であり、教室確保に向けて働きかけをお願いしたい。
- 保健室登校児童が多いので、学校全体の課題として取り組んでほしい。